



国分寺市イメージキャラクター ぶんじほたるポッチ

もくじ
 2ページ…「第4次国分寺市特別支援教育基本計画(義務教育時)」を策定しました
 3ページ…第六小学校から第九小学校への通学区域弾力的運用を終了します
 4ページ…国分寺の子どもの活躍！
 ～国分寺市教育委員会児童生徒表彰～
 ほか

発行：国分寺市教育委員会 編集：教育総務課 〒185-0034 東京都国分寺市光町一丁目46番地8 ☎(042)574-4040 <市公式ホームページ> <https://www.city.kokubunji.tokyo.jp/>

掲載している情報は、今後、内容等を変更する場合があります。最新の情報は、市ホームページ又は担当課へお問い合わせください。

武蔵国分寺跡史跡指定100周年

武蔵国分寺跡が、日本の大切な遺跡として国の史跡指定を受けてから令和4年で100周年を迎えます！

さまざまな災難から国を守るために建てられた国分寺

今から約1,300年を遡る西暦729年から20年続いた「天平」という年号は、奈良時代を象徴する言葉として、よく使われます。しかし、その文字から連想される平和なイメージとは反対に、穏やかではない出来事が次々と起こりました。

当時の日本は中国の唐という国に倣って、律令と呼ばれる法律に基づいて、天皇を中心とした国づくりを目指していましたが、政治の権力をめぐって天皇家と周辺を取り巻く豪族間で争いが起こっていたほか、毎年のように農作物の不作や飢饉が続き、734年には大地震にも襲われました。さらに735年～737年には天然痘という伝染病が流行し、都があった奈良の平城京でも広がります。そして政治の中心を担っていた人々が病に倒れて相次いで亡くなると、九州では政権に対する不満から反乱が起きました。

こうした飢饉や疫病、反乱など相次ぐ社会不安を仏教の力で鎮めようと、時の聖武天皇は741年に国分寺建立の詔を出します。この命令を受けて全国各地に国分寺と国分尼寺が作られますが、今の東京都・埼玉県・神奈川県・横浜市・川崎市域が含まれる武蔵国と呼ばれた国にできたのが武蔵国分寺です。



僧寺金堂イメージ

金堂前で儀礼を行っている様子

国分寺は、喜びに満ちた
平和な生活を願って
建てられたの。

作画：大塚敦子

あすかひめ
明日華姫ちゃん



史跡武蔵国分寺跡(僧寺伽藍中枢部)

武蔵国分寺跡
資料館と史跡を
見に来てね！



100年前の僧寺金堂跡



建物の柱を据えるための礎石が見えます

僧寺金堂復元基礎壇



奈良時代の頃の建物基礎を整備しています

現在も、新型コロナウイルス感染症が流行し、頻発する地震災害など、天平の頃と似たような社会情勢が続いていますが、私たちは過去の歴史に学びながら、現在の難しい問題をみんなで一緒に乗り越えていきましょう。

問合せ ふるさと文化財課 ☎(042)300-0073

高さ60mもあったと
される国分寺のシンボル！
大切なお経が納められて
いました。



あすかひめ
明日華姫ちゃん(1.4m)



七重塔復元図(60m)